

大会名称: **第72回国民体育大会  
愛顔つなぐえひめ国体**

開催場所: **今治市営中央体育館 メインコート**

試合区分: **No. 23 成年女子 準決勝**

期 日: **2017(H29)年10月4日(水)**

開始時間: **12:30**

終了時間: **14:00**



主審: **稲葉 威**

第1副審: **阿部 陽子**

第2副審: **前花 直哉**

<b>栃木</b> (関東)	○ <b>82</b>	13 — 22	● <b>75</b>	<b>兵庫</b> (近畿)
		20 — 20		
		32 — 14		
		17 — 19		
		—		
		—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	星 香那恵	28	2	10	2	0	8	1
5		米長 華菜	-	-	-	-	-	-	-
6		今村 優花	2	0	1	0	2	1	1
7	*	神崎 璃生	7	0	1	5	4	3	2
8		佐藤 京香	2	0	1	0	0	1	0
9	*	上田 祐季	21	0	10	1	4	3	3
10		春日イザベル瑠璃	0	0	0	0	2	0	0
11	*	佐坂 樹	12	0	6	0	3	10	1
12		山崎 滯菜	2	0	1	0	0	0	1
13	*	天坂 伶香	8	0	4	0	4	8	0
14		渡辺 葵	-	-	-	-	-	-	-
HC		佐藤 智信 / TEAM							
		合計	82	2	34	8	19	34	9

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	薬師寺 伶	6	0	2	2	4	4	1
5		前島 瞳子	-	-	-	-	-	-	-
6	*	野口美香子	4	0	2	0	3	0	0
7	*	井上 桃子	26	1	8	7	4	5	3
8		山本 未来	0	0	0	0	0	0	0
9	*	大濱 留華	7	1	1	2	3	4	1
10		趙 楽	-	-	-	-	-	-	-
11		伊藤 夏樹	-	-	-	-	-	-	-
12		纈纈 那月	7	1	2	0	1	1	1
13	*	谷口二千華	17	1	6	2	1	10	6
14		平岩 素菜	8	0	4	0	0	17	0
HC		山戸 英二 / TEAM							
		合計	75	4	25	13	16	41	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。栃木県は、速いパス回しから鋭いドライブインを仕掛け、#4、#9が得点を重ねていく。対する兵庫県は、効果的に内外を使い分け、#13のドライブインや#9の3Pなどで得点をあげる。残り2分、兵庫県#7の連続得点が決まり、試合の流れをつかむ。13-22で兵庫県がリードして終了する。

第2ピリオド、兵庫県は#13を攻撃の起点とし、インサイドを攻めファウルを誘い、リードを広げていく。反撃したい栃木県はアウトサイドのシュートを果敢に狙うも、なかなか決められない。それでも、栃木県は粘り強いディフェンスから速攻により連続得点し、33-42で前半を終了する。

第3ピリオド、序盤、栃木県は激しいディフェンスから兵庫県のミスを誘い、4点差まで縮める。その後、交代した#6が2Pとアシストを決めると、開始5分、#4の2Pで逆転に成功する。兵庫県はタイムアウト後に、1-3-1のゾーンディフェンスに切り替えるものの、栃木県#4のシュートが立て続けに決まり、一気に点差を広げ、65-56で終了する。

第4ピリオド、兵庫県は#12の3Pなどで、追い上げを図る。ディフェンスのプレッシャーを強め、残り2分には7点差、さらに#6、#13の活躍で5点差まで縮めるが反撃もここまで。結局、速いパス回しと1対1の強さが上回った、栃木県が82-75で決勝進出を決めた。高い技術で、白熱した試合をした両チームの健闘を称えたい。

担当者: 小池 健介(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

